

事業実績書

事業名	街なかの歴史的ストックを活用し市民アートでまちづくり	
場 所	沼津市（中心市街地）上土町	
期 間	令和6年 6 月 1 日 ～ 令和7年 3 月 31 日	
	日程	実施項目・作業項目
事業 内 容	R6	※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など）
	6/7 金	沼津中央高校美術部の顧問の先生と打合せ4名
	6/18 火	打合せ会議 ZOOM 会議6名
	6/28 金	打合せ会議 ZOOM 会議6名
	7/8 月	沼津中央高校美術部生徒に沼津の街の歴史、特徴等レクチュア&街歩き
	7/30 火	第1回ワークショップ 12名 ・・・あげつち通り商店街の意見・声を受けて、沼津中央高校美術部の生徒が複数の壁画案を制作
	8/22 木	打合せ会議 ZOOM 会議6名
	8/26 月	第2回ワークショップ 13名 ・・・花、狩野川、花火を壁画の大きな要素として案制作
	9/20 金	打合せ会議 ZOOM 会議7名
	10/5 土	第3回ワークショップ 15名 ・・・壁アート2025 実施案を確定する
	11/18 月	「壁アートに関する覚書」締結・・・大木ビル+(株)微助人+街なか元気の会の3者
	11/24 日	沼津市地域自治課 活動発表会・・・ポスターセッション
	R7	
	1/27 月	打合せ会議 ZOOM 会議7名
	2/6 木	打合せ会議 ZOOM 会議6名
	2/19 水	壁アート描画施工打合せ4名
	2/26 水	壁アート施工箇所横の駐車場借用者と描画施工について打合せ2名
	2/27 木	沼津市地域自治課・・・報告・連絡 壁アート2025 大木ビルの完成の記者投げ込み
	3/3 月	「壁アート2025 施工に伴う工事監理契約」締結・・・アトリエ結+街なか元気の会
	3/4 火	壁アート2025 描画現場打合せ5名
3/5 水	壁アート2025 描画施工(～3/15 土)	
3/17 月	完成、静岡新聞・沼津朝日取材	
事業効果	※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。 ・中心市街地のスポンジ化に対して、その象徴としてのコンクリートのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、無表情の空間を美しくすることになり、街なかをワクワクする空間に造り変えることができた。 ・無表情な味気ないコンクリートの壁面を市民アートによって造り変えることができたことをアピールすることになった。 ・市民の力によって、また高校生の力によって街なかを元気にする方法があることを市民に認識してもらうことができた。 ・参加し壁アートの原案を制作した沼津中央高校美術部の生徒たちは、「こんなに大きな壁画なるとは思わなかった。自分たちが考えたデザインが何年も、街なかに残り、記念になる」、「花火は一つずつ全員がデザインした。この壁アートが沼津の観光の活性化になればうれしい」という感想を述べており、若者に大きな達成感が感じられるものであり、大きな効果であるといえる。	

	・成果指標として壁アート・プロジェクトに関わる人の数を設定した。壁アート2025は、沼津中央高校美術部の生徒6人、顧問2人の先生、あげつち商店街の20人の店主の方々、大木ビル所有者3人の方々、隣地の駐車時所有者・借用者2人の方、街なかを元気にするまちづくりの会10人、これらの様々な立場の人々の参加により実現したものである。立場の違い、若者も大人も参加したプロジェクトの実現はこれからのまちづくりの大きな力になっていくと考えられる。
自己評価	※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。 ・壁アート2025の場所は、旧東海道沿いにあり、東から来て南に折れる位置にある、旧宿場町の入り口付近でもある。このような歴史的な場所に明るく物語性のある壁アート2025が描かれたことは、通りにインパクトを与え、場所の価値を上げたと考えられる。 ・中心市街地のスポンジ化に対して、スポンジ化の象徴としてのコンクリートのビルの壁で囲まれた空間を市民アートによって描くことにより、醜く汚い公共の場の空間を美しくすることになり、街なかをワクワクする空間に造り変える効果があった。 ・無表情な味気ないコンクリートの壁面を市民アートによって造り変えることができることをアピールすることになった。 ・コンクリートのビルの壁面を明るい空間にすることができた。 ・高校生が原案を考え完成した壁アート2025は、若い力によって成し得たものであり、街なかを元気にする一つの方法を市民に示したものであるといえる。
今後の活動予定	※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。 ○本町・安田屋ビルが「壁アート」第1号として完成、上土町・大木ビルが「壁アート」第2号として完成したことを含めて、改めて“ぬまづ まちなか美術館”構想について6つの商店街組合に報告し、引き続いてこれからの実施への理解を求めていく。 ○壁アート第3号として、商店街組合を通じて建物オーナーに説明・理解・承諾を得ていく。 ○壁アート第1号は市民公募により壁にふさわしいアートを広く募集し、壁アート第2号は高校生とのコラボにより完成したが、壁アート第3号は、市民公募によるか、高校生とのコラボによるか、地元商店街とも協議して検討したい。

壁アート 2025

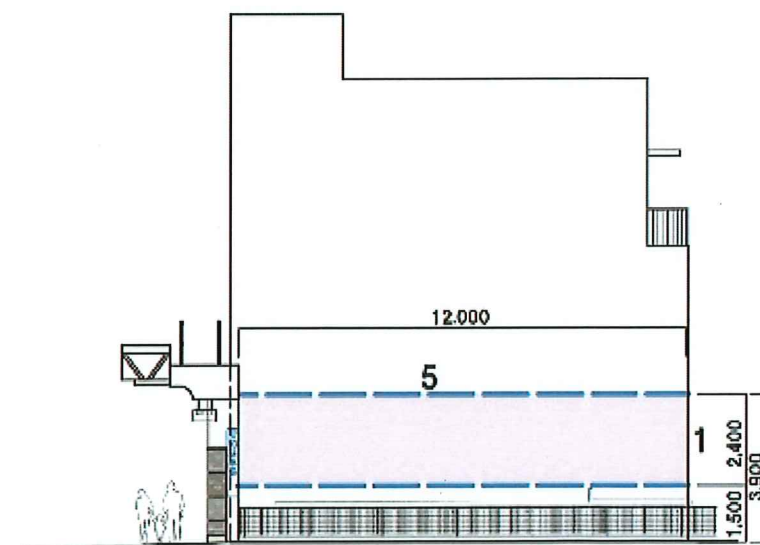
「壁アート 2025」あげつち通り・大木ビル



壁アート 2022 安田屋ビル



さんさん通りからビル正面を見る



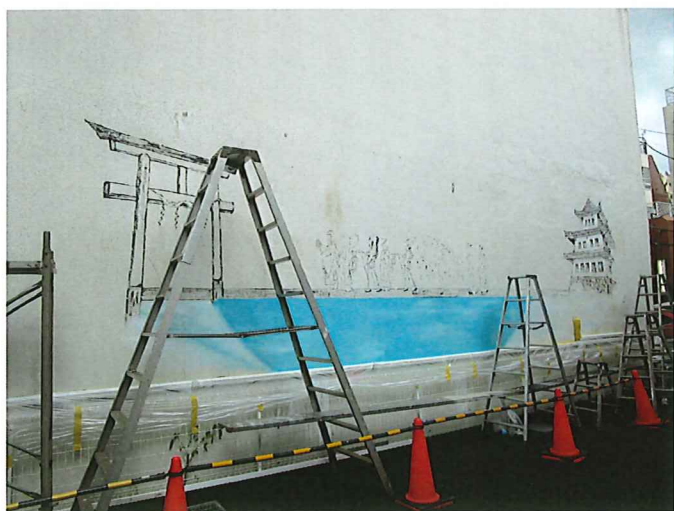
ビル北面壁：壁アート 2024 の箇所



沼津中央高校美術部の生徒さんとのコラボ・ワークショップ 2024 年 7 月



沼津中央高校美術部の生徒さんとのコラボ・ワークショップ 2024 年 8 月



2025 年 3 月



2025 年 3 月 17 日